

豊岡市では約30年ぶりの確認となるタガメを見つけた安藤航君(左)と成田快君＝豊岡市城崎町今津



豊岡の湿地で30年ぶり

2児童タガメ捕まえた!!

絶滅の恐れがある水生昆虫タガメが19日、豊岡市城崎町の戸島湿地で見つかった。同市内では約30年ぶりの確認。一帯は重要な湿地を守るラムサール条約に登録された田山川下流域で、コウノトリ野生復帰の取り組みで環境が改善されてきた。

見つけたのは、同市立日高小3年生の安藤航君(9)と成田快君(9)。体長は約6センチで、湿地近くで開かれたイベント中、水際近くの木に止まっていたところを捕まえたという。

ただ、周辺市町で発見例はなく、姫路市立水族館の市川憲平館長は「飼育されていたタガメが放された可能性がある」と指摘。その上で「以前に比べて水環境が良くなっているのでも、息はできるはず」と話している。

(若林幹夫)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

学びポイント!

身近な生き物は、30年前と今ではどのように変わったと思いますか？お家の人や、おじいちゃん、おばあちゃんにも話を聞き、考えてみましょう。

① つかまえたタガメについて (内を埋めましょう。)

・体長約 () (センチ) () で、

() に止まっていた。

② 専門家の意見を書きましよう。

名前 ()

③ 記事を読んだ感想を書きましよう。